



# やま

# 市議会だより

## No.4

発行日／平成17年10月31日  
発行／野洲市議会  
編集／議会広報編集特別委員会  
〒520-2395  
滋賀県野洲市小篠原2100-1  
TEL (077) 587-6034  
FAX (077) 586-4300



三上のずいき祭〈国の重要無形民族文化財〉  
里芋の茎(ずいき)を使った神輿を奉納するお祭り

●9月定例会	.....	P 2
●常任委員会	.....	P 4
●特別委員会	.....	P 5
●一般質問	.....	P 7
●議会の動き	.....	P 20



# 各会計の決算総括表

(単位：千円)

区分 会計別		歳入決算額	歳出決算額	収支差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一般会計		13,514,917,837	12,828,734,230	686,183,607	264,960,000	421,223,607
特別会計		8,245,312,007	8,129,461,617	115,850,390	12,200,000	103,650,390
内 訳	国民健康保険事業	1,770,875,865	1,725,023,391	45,852,474	0	45,852,474
	老人保健事業	1,774,184,097	1,762,310,030	11,874,067	0	11,874,067
	介護保険事業	1,256,258,341	1,255,393,131	865,210	0	865,210
	地域医療振興貸金貸付事業	24,675,000	24,675,000	0	0	0
	下水道事業	1,547,485,233	1,494,357,217	53,128,016	12,200,000	40,928,016
	墓地公園事業	45,390,709	41,945,584	3,445,125	0	3,445,125
	基幹水利施設管理事業	10,022,602	10,022,000	602	0	602
	野洲川農地開発事業	2,019,503	2,013,068	6,435	0	6,435
	工業団地等整備事業	1,601,295,647	1,600,617,252	678,395	0	678,395
	土地取得	213,105,010	213,104,944	66	0	66
合計		21,760,229,844	20,958,195,847	802,033,997	277,160,000	524,873,997

## 平成17年 第3回野洲市議会臨時会

平成17年7月12日

### 議案

- 議員提出分 野洲市農業委員会委員の推薦  
推薦

## 平成17年 第4回野洲市議会臨時会

平成17年8月1日

### 議案

- 平成17年度野洲市一般会計補正予算(第2号)
- 東海道新幹線新駅設置工事促進事業費負担金として平成17年度から平成24年度までの間で2億6900万円の債務負担行為

可決

請願  
◎地域での「子どもの居場所」づくりを求める  
請願第6号  
不採択

請願  
◎だれもが安心して暮らせる保険制度を求める  
請願第5号  
不採択

請願

# 常任委員会審議内容

## 総務

● **コミュニケーションセンター**  
 条例の一部を改正する  
 方財政計画に基づき算定したが、その後算定数値の変更があったため、開きが出た。

**問** 市長が特に必要と認める業務とは。  
**答** 次回、協定書の中で触れることになる。

**問** 施設及び施設の維持管理はどうなるのか。  
**答** 一定以上の金額は市が、それ以下については指定管理者が負担する形を考えている。

● **平成17年度野洲市一般会計補正予算中、総務関係**  
**問** 地方交付税の減額が大きすぎるのでは。当初予算では国の地  
**答** 以前は広報に掲載したが、今はしていない。市長への手紙は市民にフィードバックして

● **平成16年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定**  
**問** 広報の直送の依頼の周知方法は。  
**答** 以前は広報に掲載したが、今はしていない。市長への手紙は市民にフィードバックして

● **平成16年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定**  
**問** 広報の直送の依頼の周知方法は。  
**答** 以前は広報に掲載したが、今はしていない。市長への手紙は市民にフィードバックして



ほほえみ・ときめき通信箱

- **野洲市公民館条例の一部を改正する条例**
- **野洲市文化ホール条例の一部を改正する条例**
- **野洲市総合体育館条例**

**問** 住所、名前を書いてある方には、文書にて回答し、無記名、匿名の方の分は意見と回答内容を市民窓口で一定冊子にまとめておいて  
**答** 収入未済額の考えは、電話等での催促、追跡調査また納税相談等を行っており、いっそう収納に努めたい。

● **野洲市子どもの家条例**  
**問** 上限を超えた場合の分割保育で、地域の実情に応じて分割保育をしないとあるが、祇王子どもの家では。  
**答** 祇王子どもの家については、2階建であるため、分割運営は可能である。中主子どもの家についても現在増築工事施工しているので可能。

● **野洲市子どもの家条例**  
**問** 上限を超えた場合の分割保育で、地域の実情に応じて分割保育をしないとあるが、祇王子どもの家では。  
**答** 祇王子どもの家については、2階建であるため、分割運営は可能である。中主子どもの家についても現在増築工事施工しているので可能。

## 文教厚生

● **工事請負契約（固定系デジタル防災行政無線整備工事）**  
**問** 屋外受信拡声装置83台は学校、園にも整備されるのか。  
**答** 屋外受信拡声装置は園も含まれるところもあるが、篠原のように学校、園がかたまってあるところなどは、戸別受信装置の整備を検討する。

● **平成17年度野洲市一般会計補正予算（第4号）**  
**問** 新エネルギー導入促進について。  
**答** 省エネルギーに限定し、一般家庭、企業、事業所等の省エネルギーの計画の策定をしていく。

● **平成16年度一般会計歳入歳出決算の認定**  
**問** 新しい給食センターもできることから、地産地消を地元の皆さんは期待しているが、どのように考えているのか。  
**答** 米については、当然100%いけるような形で考えている。野菜については、契約栽培がいいが、JAを通して地元産の率が上がるような形で集約をお願いしようと考えている。

● **平成16年度一般会計歳入歳出決算の認定**  
**問** 新しい給食センターもできることから、地産地消を地元の皆さんは期待しているが、どのように考えているのか。  
**答** 米については、当然100%いけるような形で考えている。野菜については、契約栽培がいいが、JAを通して地元産の率が上がるような形で集約をお願いしようと考えている。

● **平成16年度一般会計歳入歳出決算の認定**  
**問** 新しい給食センターもできることから、地産地消を地元の皆さんは期待しているが、どのように考えているのか。  
**答** 米については、当然100%いけるような形で考えている。野菜については、契約栽培がいいが、JAを通して地元産の率が上がるような形で集約をお願いしようと考えている。

● **平成16年度一般会計歳入歳出決算の認定**  
**問** 新しい給食センターもできることから、地産地消を地元の皆さんは期待しているが、どのように考えているのか。  
**答** 米については、当然100%いけるような形で考えている。野菜については、契約栽培がいいが、JAを通して地元産の率が上がるような形で集約をお願いしようと考えている。

# 産業 土木

●平成17年度野洲市一般  
会計補正予算(第4号)

### 産業土木関係

●平成17年度野洲市一般  
会計補正予算(第4号)  
産業土木関係  
問 商工費：工業振興助  
成金の増額補正の具  
体的な内容は。

答 野洲市工業振興条  
例に基づき、上屋の工業  
団地で既存会社が隣接  
で用地取得する用地費  
の20%を助成する。ま  
た、環境関連事業で2  
社に土壌、地下水、臭  
気等の調査を実施する  
調査費を助成する。

●平成17年度野洲市基幹  
水利施設管理事業特別  
会計補正予算(第1号)

問 基幹水利施設管理事  
業は、どこからどこま  
でを管理するのか。

答 この特別会計では、  
野洲川3地区であり、  
石部頭首工のみが対象  
である。ちなみに、野  
洲川第1地区は、野洲  
川ダム、野洲川第2地  
区は水口頭首工。

●平成16年度野洲市下水  
道事業特別会計歳入歳  
出決算の認定について

問 下水道経営計画検討  
事業委託を行なったが、  
どのような内容でどん  
な計画なのか。

答 5年を1スパンとし  
て、下水道事業の全体  
收支経営診断を行い、  
今回平成18年から平成  
22年までの下水道事業  
経営計画を策定する。

## 地域活性化 特別委員会

### 「要望書」

- ◎JR琵琶湖線(草津駅  
―野洲駅間) 複々線化  
滋賀県土木交通部長  
平成17年5月23日
- ◎JR新駅(野洲駅―篠  
原駅間) 設置  
JR西日本  
平成17年9月20日
- ◎JR琵琶湖線篠原駅の  
駅舎改築  
(要望先)  
滋賀県知事

## 交通対策 特別委員会

### 「要望書」

- ◎大津湖南幹線(近江八  
幡守山線) 早期整備  
道事務所長  
平成17年8月18日
- ◎(仮称) 湖南・東近江  
広域幹線道路の整備促進  
◎国道8号野洲栗東ハイ  
パスの早期着手  
(要望先)  
滋賀県知事・土木交通部  
長・国土交通省滋賀県国

## 代表質問

### 野洲市民ネットワーク

森田 貞雄

問 財政の見  
通しについて

答 歳入面に  
おける法人市  
民税今年度予  
算計上額については辛う  
じて確保できる見通しで  
ある。

普通交付税については  
当初予算を大きく下回っ  
たが、地方特例交付金等  
の増額分及び前年度決算  
剰余金の一部を充当して  
対応できた。

また、税収も概ね予算  
額を確保できると考えて  
いる。  
歳出面については各事  
業とも概ね計画どおり執  
行している。

問 商工業者育成の状況  
等について

答 小規模企業者小口簡  
易資金融資を行っている。  
4月から8月までの受  
付件数34件、貸付決定額  
は1億7890万円であっ  
た。

その他、利子補給を一  
部している。工業者の育

成として、新たに立地、  
または環境関連業者に助  
成措置を行っている。

助成金は野洲商工会へ  
1385万円、中主商工  
会へ815万円を補助し  
ている。

問 イオン株の出店につ  
いて

答 9月1日覚書を締結  
した。今後、環境等の問  
題は自治会の代表、行政  
イオン(株)連絡会を設置し  
検討を行ってゆく。

商業者支援については、  
支援策を策定し商工会と  
協議を続けている。

問 コミュニティセンター  
について

答 本年4月に設置目的  
を変更し、市民活動を促  
進し、市民全体の街づく  
りを実践する場と位置づ  
けたところであり、現在、  
5館で運営している。16  
年度実績の利用回数及び  
利用者数はセンターによ  
り異なるが、月平均の利  
用回数は概ね60回から1  
40回、月平均の利用者

数は概ね1200人から  
2800人となっている。  
今後の状況は、17年度  
から18年度にかけて「コ  
ミュニティセンターなか  
さと」、「コミュニティセ  
ンターひょうず」を建設  
する。

問 防災対策について

答 毎年、自衛消防隊な  
どのリーダー研修を実施  
している。自主防災組織  
が17自治会で組織され、  
市内82自治会で自衛消防  
隊が組織されている。

その他、防災無線の整  
備、地域防災計画の策定  
を進める。

問 学校における不審者  
対策について

答 PTAの協力により  
安全パトロールを継続し、  
市の青少年育成市民会議  
でも週1回の補導パトロー  
ルを実施している。  
一部の学校では地域の  
協力を得た取り組みも行  
われている。

# コミュニティ野洲

鈴木市朗

## 【市政関連・新幹線負担金】

**問** 『新幹線栗東駅の負担金は発生しない』の市長公約があるが。

**答** 昨年10月『今の段階では出せない』と発言した。その後、県や関係自治体負担が明確になり、野洲市としても負担を決定し、議会に提案。

## 【財政関連】

**問** 16年度一般会計決算では依存財源が55・9%と極めて高く、財政力指数も0・929と大幅に低下。

**答** 更に、依存財源の多くが市債（借金）、高額の公債費（返済）、基金も大幅減と厳しい財政。18年度予算編成所見を求めらる。

**答** 法人税をはじめ市税の増収が見込めない。また、三位一体改革の地方財政効果も期待できない。堅実な予算編成に努力する。

## 【住民福祉関連】

**問** 少子高齢化対応

出生率の減少傾向、少子高齢化に拍車がかかる。その対応。

**答** 17年3月、今後の子育て支援の方向性や目標を「野洲市子育てサポートプラン」で策定。積極的に取り組んでいく。

**問** 平成18年度に全国一斉に介護保険料が改定され、大幅な保険料の高騰が予測されるが、本市の抑制課題の検証と手法は。

**答** 本市でも介護サービス利用者等の増加により、保険料は増加傾向にあるが、制度改正の趣旨に沿って、一貫性・連続性のある予防重視型システムを確立し、抑制に努める。

## 【産業土木関連】

**問** JR複々線化

用地の先行取得等、莫大な資金を投資している。行政の考えを問う。

**答** 今年度より、湖南総合調整協議会（湖南4市）

の重要施策と認識し、事業化を要望していく。

**問** 野洲―篠原間新駅 新設祇王駅は、当該地区の新たな街づくりには不可欠。見解を伺う。

**答** 課題は多い、野洲市総合計画での位置付けを明確にし、検討していく。

**問** 工業団地イオン出店 イオン誘致問題はその後何の説明・報告もない。所見と進捗説明を求め。

**答** 9月1日出店に係る覚書締結。今後も商工会との支援策協議や連絡協議会を設置し課題検討する。

**問** 17年の税制改正で農業所得部門が青色申告となるが対応は。

**答** 税務署の説明会開催や、農業関係団体への協力を依頼している。

## 【嘱託・臨時職員採用】

**問** 図書館の司書採用には38人の応募があったが、どのような経緯で採用したか。

**答** 筆記試験、論文や面接を実施し、適正と判断された5名を採用した。

# 豊政会

原田 薫

## 【行財政改革】

**問** 18年度予算、収支バランスの見込みと合併特例債事業の優先順位、規模。

**答** 給食センター建設、減額できる規模、工事内容。国・県要望内容は。

**問** 税財源は17年度の水準確保は困難。歳出予算は堅実、大胆に編成。合併特例債事業は市総合計画を策定し適債事業を見極める。

**答** 学校給食センター建設は用地取得、基本計画・設計発注、設備等の検討中。最小経費で最大効果を得られるよう進める。

## 【少子高齢化の今後の取り組み】

**問** 兵主地区に保育所新設を。高齢者対策として、地区特性に見合う取り組みが必要。高齢化した住宅団地の活性化対策は。

**答** 兵主の保育園は庁内で検討。高齢化対策はだれもが安心して住みなれた地域で健康で生きがい

をもって暮らせるよう各種事業に取り組む。住宅団地の活性化策は「団塊の世代の人材活用」をキーワードとして取り組む。

**問** 河川改修自主防災組織の現状、防災行政無線を利用した防災訓練の実施。犯罪の広域化、国際化、凶悪化の現状と対策は。

**答** 「河川改修」については国、県に積極的な要望活動を行う。自主防災組織の結成を自治会に依頼。防災行政無線活用通信、伝達、避難誘導訓練。治安、防犯は「街頭犯罪抑止総合対策」を警察・地域住民一体となり推進する。

## 【農業問題】

**問** 農業は従事者だけのものでなく、食料自給、環境保全なども結びついている。農業に対する考え方は。

**答** 国民に食の安全、健

全な食生活に関心が高まっている。国、県、農協と連携し担い手の育成・確保に取り組み、集落営農の育成・法人化を支援。

## 【まちづくり基本条例】

**問** 市民参加、「協働」が市役所の単なる埋合わせに利用されている。

**答** 「協働」とまちづくり基本条例のあり方。個人情報保護法と地域コミュニティシヨンの方策は。

**問** 市民との協働は「個人でできることは個人。個人でできないときは団体。団体でできないときは行政とともに」が基本。「まちづくり基本条例」は①協働についてのルールの明確化②市民参画の機会を拡充、情報の共有③協働していける人の輪づくりと継続、が基本。最高法規制を持つ。

個人情報保護法でのコミュニティ活動は自治会で各世帯了解の聞き取りによる世帯名簿等を作成、管理するしかない。日常の「繋がり」が基礎。（学校の安全対策と市役所の構造改革についての質問もありました。）

# 一般質問

# 市のゆきえは

— 9月定例会、25名の議員が質問 —

## 市内循環バスの

## 拡充、強化を

藤村洋二

**問** 待望の市内循環バス

4台4路線がバスの運行してない地域にも走るようになった。健康福祉センターではお年寄りや障害を持つ方の利用が増え、降りてこられる皆さんの笑顔を見て本当に良かったという声を聞き、更なるバスの拡充、強化が望まれる。

一方、市内循環バスの乗車が少ないことを理由

## 検討課題とする

市民健康福祉部長

**答** 市内循環バスは高齢者、障害者福祉として、

また、地域の活性化からも重要な施策である。利用される障害者や高齢者は非常に喜んでおられるが、一部利用者が少なく循環バスの再考が必要という意見も聞かれる。

乗車の少ない原因はダイヤと運行系統にあるとの意見も踏まえ、今後、

に、無駄だから廃止せよとの声もある。原因は①

ダイヤ編成が利用者の望むダイヤになっていない  
②コース設定に無理があり時間がかかるなどが考えられ、早急なダイヤ、系統の見直しが望まれる。既存バス路線の高齢者割引制度なども導入し、市内循環バスを含めたバス路線の再検討が必要。

野洲市バス対策地域協議会やプロジェクトチームで、乗客数等のデータの

検証や課題分析をし、利用していただけるよう研究する。

また、既存バス路線の高齢者割引の補助制度はないが、今後他市の取り組み等を参考に検討課題とする。



市内循環バス

## その他の質問

保育所、図書館など公であるべき施設の指定管理者制度について市の姿勢。



### 障害者、高齢者等の

### 災害時の支援策は

田中 栄太郎

**問** 近年自然災害、事故災害等、従来考えられなかった多くの災害が発生している。特に障害者、高齢者に致っては健常者と行動を共にすることは

大へん困難なことである。そういった災害弱者に対し安心の出来る支援又、支援策をどのように考えておられるのか。

### 支援体制に取り組み

市民健康福祉部長

**答** 災害発生時、災害弱者へいち早く避難誘導することは、最も重要と認識している。支援策としては、電話やファックス、メールで知らせる災害福祉ネットワークサービスや独居高齢者等が急病や事故に遭った時、救急活動を行なう緊急通報システムを実施している。基本的には、現在策定中の「野洲市地域防災計画」により進めていくが、災害時即座に訪問等による支援が必要な事から、行政区ごとの要援護者の名簿作成が、ほぼ終了した。個人情報保護の観点から

今後どのように活用するか検討中。又、民生児童



委員や近隣住民、ボランティア等の支援体制の整備に取り組みと共に、関係部とも連携し早急に行動するように考えている。



緊急通報システム

### 誰にでも

### やさしいまちづくり

三和 郁子

**問** ①平成16年3月策定の『交通バリアフリー基本構想』の進捗状況、及びユニバーサルデザインに関わる施策や方針は。

②弱者の方達の駐車スペースのカラー塗装、明確な標識設置や歩道点字ブロックスペースの安全確保を。

### ユニバーサル社会の実現努力

都市建設部長

**答** ①本年度『野洲市交通バリアフリー道路特定事業計画』を策定し、具体的進捗を図る。『誰もが住みたくなる福祉滋養のまちづくり条例』

(県条例)に基づき、まちづくり計画策定の中でユニバーサルデザイン社会の整備を進める。②まちづくり計画策定の中で検討する。

### 石綿(アスベスト)対策

### 安心・安全の確保を

**問** ①石綿含有量分析調査対象公共施設及び市内企業の石綿使用状況は。

②中主給食センターポイラー室及び中主B&G海洋センター体育館機械室

の石綿封じ込め工事が発注されている。職員の健康への影響は。③市民の相談、質問、情報提供・公開など対応は。

### 十分な調査・分析安全確保に注力

環境経済部長

**答** ①公共9施設の19箇所について含有量分析中。昭和48年から平成3年にアスベストを取り扱った企業が1社ある。就労者の健康被害などは発生していない。追跡調査中。②調査中③健康推進課及び環境課を窓口として対応



カラー塗装と標識を



# 犯罪抑止に青色回転灯装備の 自動車でパトロールを

梶山幾世

**問** 本年4月より生活安全室を設置し、市民の安心安全の確保に努められているが、あいつく小学生の誘拐事件等に保護者の方々は不安をいだかれ、安全対策の強化をとの声。

警察庁と国土交通省は平成16年12月1日より、地方公共団体等が地域の防犯の為に防犯パト

ロールに使用する自動車に青色回転灯を装備する

為の申請の受け付けを開始している。登下校の時間帯の通学路周辺を重点的に、市内巡回等、警察官OBの協力を得て青色回転灯自動車の防犯パトロールの実施が犯罪抑止に効果的と考えるが見解は。

# 今年度中に 青色回転灯の申請を予定

市民健康福祉部長

**答** 守山警察署と子ども安全リーダー連絡協議会と協議し、今年度中にリーダー連絡協議会会長の自動車と野洲

市の公用車（一台）に青色回転灯の申請を予定。

今後、警察官OBの活用も考え、青色回転



青色回転灯（神奈川県藤沢市）

灯による防犯パトロールや自主防犯組織活動の支援に努め、安心、安全のまちづくりを進める。

## その他の質問

**問** 「道路に愛称をつけ親しみを感じるまち」の取り組み状況。

**答** 平成18年度から住民参加のもと進め

ていく。

**問** 次世代育成支援行動計画、野洲市子育てサポートプランの実施。

**答** 平成18年にはファミリーサポートセンター

の実施に取り組み、計画の事業は早期実現に向け、関係機関と協議し進める。

# 市長の市政に 対する姿勢を問う

太田秀司

**問** 新幹線栗東新駅問題では、市長は一体どちらを向いて市政執行されたつもりか、疑問と不安を感じる。ついに市長は一度も全市民に説明責任を

果たさず、議会で強引に押し切った感がある。市民の血税を使う以上民意を反映するのが当然だが、残念である。市長は市民の方を向いて市政

果たさず、議会で強引に押し切った感がある。

考えていない。予定では、給食センター、コミセンひょうず、障害者スポーツ施設等を計画している。

# 市民と同じ視点・同じ感覚で 市長

市長

**答** これからも市民と「同じ視点・同じ感覚」で市政執行していきたく

新市施行から1年で公共事業の見直しは

# 学校教育選択の自由は

**問** 最近の学校教育の現場では様々な「心の教育」が行われているが、親の目から見てすべてが好ましいとは思

えない。例えば過激な性教育や「らしさ」を否定する男女共同参画、権利ばかりを主張する人権

教育等があるが、これらの内容の見直しはされるのか。されなければ、この思想から子供を守るには、その授業拒否しかないが、その自由はあるのか。

# 内容的には年々検討を 教育長

教育長

**答** 公開授業や懇談会等で説明をし、理解・

推進。授業拒否は想定してない。調査する。



# きちつとあいさつを

田中良隆

**問** 住民が望んでいることは職員のアートを良くしてほしい、きちつとあいさつをしてほしいということである。

**答** 職員の方から、はつきりと、相手にわかる声で「こんにちは」「ごらっしゃいませ」の声をかけるべきである。このコミュニ

## 今後は徹底する

助役



いのか。

# どうする野洲市農業

**問** 野洲市の面積の4割は農地。農業が地域社会に果たす役割を考えると、農業の担い手は、地域社会の担い手でもあり、その育成・確保は、地域社会の維持のためにも不可欠である。

**答** 野洲市の農業をどうするのか、担い手についてどうするのか。

## 積極的に育成

環境経済部長

**答** 国においては、農地の担い手への利用集積を進め、農地の有効利用・経営の安定・作業の効率化を図ろうとしている。

また、小規模農家、兼業農家には集落営農への取組を進めている。しかし集落営農は、組織の運営や経理などの面

で課題も多い。今後の各種施策の動向を踏まえこれらの動きに遅れることなく、国の方針どおり積極的に取り組む。



市役所受付

# 家棟川の河川敷地 利用と周辺整備その後

中島一雄

**問** 通常砂防家棟川改修事業は平成19年3月に完了予定となっている。平成12年6月議会でも、辻町側に約3千㎡の河川敷地ができる予定とのこと、高齢化社会への備えとして市民の憩いの場やスポー

ツのできる施設の提案をした。県は敷地の利用は未確定であり今後県及び地元と利用についての協議をしたいとのことだったがその後の対応について伺う。また平成14年9月議会でも家棟川隧道の取

## 河川敷地は憩いの広場、 隧道は解体へ

都市建設部長

**答** 河川敷地の利用は検討を重ねてきたが地元の方々の集える憩いの広場や健康増進の図れるふれあい広場が適当と考えている。県として跡地利用は考えておらず利用については県から有償で買い取る必要が生じている。財政事情等を勘案しながら今後の計画を策定したい。

隧道の取り扱いについて現地保存する内容で地元と調整してきた。しかし琵琶湖西岸断層帯の地



家棟川河川敷地

震災発生確率が公表されたことから県と協議し1/3を撤去することにより残りの部分の耐震性が低下し

危険であることが判明。解体し一時市有地に保管。可能な限り復元保存したい。



り扱いについて1/3を撤去し2/3を残す予定とのことだが現在の様な状況にあるのか。

# 水辺事業整備に野洲市湖岸 開発(株)第三セクターの活用を

森田貞雄



湖岸道路沿い24反の空き地

建設はどうか  
(3)大畑橋下流の土地利用として、対岸のグラウンドゴルフ場が満杯になっており、この建設を提言してはどうか。

## それぞれに対応している

総務部次長



**問** 中主町より引き継いでいる事業報告書によると、今日まで順調に推移していると判断される。水辺事業の展開を第三セクターである野洲市湖岸開発(株)に委託してはどうかと思うが、今後の具体策を明らかにされたい。  
また、水辺整備事業等については、リゾートネットワークス構想とも関連があると思われるが、現在の状況を明らかにされたい。  
(1)ヨットハーバーの建設はどうか。  
(2)10年以上放置されている湖岸道路沿いの空地に「クラインガルテン」の

**答** (1)当時、県の構想に採択されなかったため検討を進める状態にない。  
(2)「エコリゾートの推進」として位置付け、自然環境を学習体験してもらう施設整備の活用方策として掲げている。  
(3)県では、当該地に「ピオトーブや湾岸等河畔林」の整備計画がされている。マリンスポーツ、フットサルコート、グラウンドゴルフ場の整備を県に要請していく。



大畑橋下流

# 湖岸地域振興基金の 利活用は

木村定八

**問** 昨年合併前の9月議会で、湖岸地域振興基金の設置が執行部より提案され、湖岸開発の必要性を議員全員が認め、吉川自治会より寄付された5千万円を基金として、設置することが可決された。

吉川地区はもとより、琵琶湖に接する地区の方々も、湖岸開発の期待は大きく「基金の利活用」についてどのように管理・運営されているのか伺うと共に、公共や民間施設の誘致の推進、観光や憩いの場の開発等、湖岸開発審議会を市民公募・地元代表・若者・女性・コンサル等を含む住民参加の場を設ける事を提案する。

## 野洲市で基金として 管理している

総務部次長



琵琶湖上空より湖岸を望む

**答** 湖岸地域振興基金は、吉川自治会より5千万円の寄付を頂き、野洲川廃川敷地や琵琶湖岸の開発等の資金として設置した。現在野洲市で基金として管理している。本市では琵琶湖岸とその周辺地域は全市民にとって憩いの空間と貴重な観光資源であり、新市まちづくり計画でも「エコリゾートの推進」として主要事業に位置付けている。本年度から「総合計画」や「土地利用計画」の策定に着手しており、具体的方向性が出た時点で、提案の協議の場等、設置も考えていきたい。



# 新市まちづくりの

## 基本姿勢は

津田實



**問** まちづくりの基本施策は、人権、協働、環境

地域福祉、子育て、教育、産業振興等、新市から一年が経過したが、住民からの視線は何れも厳しい行政不信を招いている。いよいよ、18年度予算編成期に直面し行財政の改

革と効率効果、プライマリーバランスの財政運営

等、舵取りを再確認し、市の基本計画策定にあたり公債依存型予算からの脱却策、次に市民協働のまちづくり自治基本条例を早期に立ち上げ、市民の声を施策に反映し、官

民一体が実感できる野洲市のバックボーンを築くことが急務と考えるが市長の見解を求める。

# 市民と共に歩む 市政運営の展開を

市長

**答** 市長就任以来、新市

まちづくり計画の基本理念に基づき、市民の融和を基本に市政運営を行ってきた。新市はまちづくりの緒に付いたばかりで、この一年は合併協議の事後処理等の施策展開を中心に行ってきた。しかし、その間もまちづくりの基本理念である人権、環境、市民協働を軸に庁内組織改編など二年目の市政運営の基盤づくりに邁進中である。

今後は、市総合計画やご指摘の市の進むべき道筋を描くと共に、透明性、公平性の確保等に留意し事業展開を図りたい。

特に、まちづくり基本条例の制定は市民の自律性を担保するまちづくりの根幹となる基本条例であり、市民の意見を聞きながらできるだけ早急に制定し、まちづくりのバックボーン



ンとして市政運営につなげたい。

# ファミリー・サポート・

## センター設置を

中田幸子



**問** 核家族化が進む一方

でコミュニティのつながりが希薄となっている今日、子ども、高齢者、心身にハンディを持つ人も誰でも自由に通い、隣近所的な居心地よく集える世代間交流のできる場所

づくりが必要と考える。

育児や介護の援助を受けた人となり、助け合う組織で、保幼、学童保育後の送迎と預り等、また、閉こもりや、ひとりぐらしの高齢者が出かけたくなる居場所であり、子育て、高齢者の支援対策、世代間交流がひとつの場で行える「市民ファミリーサポートセンター」の設置を、多くの住民は早急に対策を願っている。

# 多様な地域サポート システムの場所づくりを

市民健康福祉部長

**答** 当事業を子育て支援

センターにおいて、18年度より開始すべく実施方法の検討や、子育て支援ボランティアの養成に着手している。

づくりを目標とし、申し出があれば積極的に支援する考えです。

次に高齢者や子育て支援、世代間交流の場設置については平成15年度に県は「あったかほーむづくり事業」を開始し、民家や空き店舗等を活用し「地域家族」づくりと介護や子育てサービス、生活支援等多様な地域サポートシステムづくりの場所



世代間交流



給食センター予定地

また、今後の運営に対して

# 学校給食センターの建設予定地は 中主小の照明は

田中孝嗣



問 ①給食センター建設を断念した土地は、見るからに荒れ放題になっているが、急くならなせもって誠意ある対応をして、早期解決に努めなかったのか。

新しい建設予定地は、市道西河原童子川線がメイン道路となるが、道も狭く、路線バスや附近の会社の大型車も多く通り、今でも危険な所である。

なお多くの配送及び回収車、納入業者の車、職員の車の通行を考えると、附近の人々の安全が損なわれる恐れがある。

これから工事車両も多く通り、この附近は農道もあり、住民の通行の妨げや、事故も心配しなければならぬ。

住民に迷惑が掛からないように、農道や自治会の中を通らないように、

## 安全対策を十分に

教育部長

答 ①断念した土地については9月18日に、3人の方と誠意をもってお話をする。

新給食センターの建設に

また、今後の運営に対して

約束出来るのか。又そのための道も作れるのか。

②当初予算を組みながら、未だに出来てない中主小のナイター設備、誰が考えても子どもに影響のない夏休み中に工事を完了して、秋の気候がよい運動会の時期に住民に利用をして頂くのがベストなのか。

も、住民の皆さんに、迷惑が及ばないように、事故故のないように、安全対策を十分に検討していく。

②学校との設置位置の協議に思わぬ時間を要して、遅れているが、できるだけ早い時期に完了するように努めたい。

# 野洲病院の

## 今後の在り方は

山本勇作



問 野洲病院は昭和34年に診療所として開所され

当時地域内での数少ない医療機関であったが、今日では唯一の二次機能病院として開院されている中で質問する。

①高齢化の進展により療養病床の確保計画と第5次医療法改正に伴う基準病床数はどうなるのか。

②東館の耐震補強と駐車場の狭隘策について。

③診療患者との業務対応のあり方について。

④地域に貢献している病院の借入金現在30億円あるが新築移転計画すれば市として財政支援されるのかどうか。

## 増床は難しい 移転なら財政支援

市民健康福祉部長

答 ①療養病床確保は現在湖南保健医療圏には2574床中、2573床の基準病床が整備されているため新許可病床数はない。基準病床数の見直しは湖南圏域は病床数が多いので増床は難しい。

②東館耐震補強や駐車場狭隘策等は敷地内に仮設病床の建設が不可能と考

野洲病院



野洲病院玄関前

# 介護について問う

野の並なみ享きやう子こ

**問** だれもが老後は安心して暮らしたいと思っ

ている。介護保険が改悪され今年10月から入所施設の食事代・居室代が保険からはずされ、全額自己負担

になる。

特別養護老人ホーム「あやめの里」の入所の方は、非課税世帯で年金が80万円以上266万円以下なら一か月85000円になる。



居室代を払うことは自宅の家賃との二重払いになり、また低所得者の行き場を奪うのではないか見解を求める。

負担の緩和が図られる。

# 旧第二びわこ学園跡地は

小こ島じま進すすむ

**問** 昭和41年に野洲町南

櫻に開設された施設も築後38年が経過し、施設全体に老朽化が著しく野洲町北櫻、三上山を背景に近江富士花緑公園に隣接

する恵まれた自然環境の

地に、平成16年3月に移転業務が開始された。ほほえみの里、びわこ学園施設も開園後一年六か月を迎える。

次の項目について伺う

○野洲市への跡地返還予定期日は  
○今後の跡地利用目的と管理体制は



# 地元自治会と協議し 計画を 市長

**答** ○譲渡時期については、旧第二びわこ学園跡地の利用計画が定まってい

ないこと、昨年より無償貸与した第二びわこ学園敷地との兼ね合いもあり、譲渡時期は決まっていない。

○今後の利用目的は、跡地利用に向けた協議が進んでいないことから、利用目的が定まっていないが、地元自治会のご意見を踏まえ、市のまちづくり計画に添った利用計画が図れるよう進める。

なお、更地となった跡地は、現在、第二びわこ



旧第2びわこ学園跡地

# 低所得者には 減額制度を

市民健康福祉部長

**答** 食費・居住費の本人負担については、在宅サービス利用者との均衡上、やむを得ないと考える。

また、低所得者に対しては負担増とならないよう、新たな給付が創設されるほか、減額制度により、

# 子どもの健全発達を サポートする児童館について

**問** 未就園児や小・中学生は遊び場を求め、スー

パーや隣の児童館に行ったり、家の中でゲームをしたりしている。子どもたちの健全な遊びをサポートし、個性と発達を保障することができ、自由に遊べる「屋根のある公園」

児童館の充実が求められている。

# 現段階では考えてない 市民健康福祉部長

児童館の整備計画は現段階では考えてない。

自治会館やコミセンなどで場所を確保。

# 水道料金の改定は

小菅 六雄

**問** 合併協議会のシミュレーションでは、2町の水道料金統一に当たり、旧中主町の料金を大幅に値上げすることになっている。これは「合併で負担

は低い方に」という原則に反する。これまで、水道会計に国合併補助金投入や経営努力を行い、値上げをやめるよう求めてきた。この結果、「市

# 次の市議会に提案予定

環境経済部長

**答** 上水道運営委員会で審議を賜った改定案で次

期市議会に提案する。

# 分庁舎のサービス拡充は

**問** 合併後、分庁舎となった旧中主役場では、市民の相談・申請に対応できなくて「本庁舎に行くよ」と言われた例が多々ある。市長は、「分庁舎の権限を強化する」と答弁していたが効果が見え

ない。権限強化と言うなら、福祉・医療にかかわる相談・申請に対応できる「出先機関」を分庁舎に設置すべきである。

# 職員が出かけて相談

総務部長

**答** 福祉・医療関係の経験ある職員を配置している。状況により分庁舎に本庁舎職員が出かけ相談

を行うことにしている。健康福祉部の出先機関を設置する考えはない。



分庁舎 1階

# 石造トンネルの

# 取り扱いを問う

竹内 孝治

**問** 石造トンネルについては撤去を望まれる率直な地元住民の思いをつたえてきた。当局は撤去か

移転かに、有識者等の意見を聞いた上で結論を出すとの答弁。その後の結論は。

# 人命にも関わる事態が

# 想定のため撤去

都市建設部長

**答** 篠原神社の鎮守の森と一体化した中で現地保存の計画をしていた。しかし平成16年6月に県より琵琶湖西岸断層帯の地震発生確率が公表され専

門業者に調査依頼の結果、崩落の危険性を指摘された。貴重な遺産であるが人命にも関わる事態が想定されることから撤去。

# 道路・河川改修事業の

# 進捗を問う

**問** 国県の財政難に伴い大型の新設改修事業が、近年各地方でも大きく遅

れ、中断等よぎなくされている。当地域各事業の進捗状況は。

# 最大で日野川広域河川

# 改修4年遅れ

都市建設部長

**答** ①18年度に完成予定  
②4年遅れ22年完成予定

③18年度完成予定  
④25年度完成予定

⑤18年度完成予定  
⑥当初計画は18年度で2年遅れの20年完成予定



# 野洲川廃川敷地に関する元中主町長と吉川区における確約書について

辻 藤雄



**問** 昭和63年、3項目からなる確約書が交されているが、今なお履行されていない。この件について新市に引継ぎされているのか。

## 項目毎に対応

市長

**答** 1項目は、吉川工区、小浜工区の下流域域から順次地権者全員に仮配分され、平成16年北流全域が換地登記された。こうした状況の中で、平成元年1月14日付で吉川区長に1項目の履行については、元中主町長から履行されなかった事に対し陳謝されている。その代替案としての支援策が提示されている事項については、最大限努力を重ねてきた。

2項目の吉川下流域で県が所有する地域開発区域内で、中主町国土利用計画で湖国風景公園吉川緑地区域に指定され、



野洲川廃川敷の換地後

現在県事業として、工事が着手されている。3項目は、今年度をもって事業完成の運びとなり最終事業の幹線、支線農道舗装工事及排水路床打ち工事を現在実施している。

以上の確約内容で合併時の引継ぎしている。

# これでいいのか 過激な性教育

田中弘一



**問** 性教育は、慎重に行うべきで、基本的な考えを教えずに、性交の仕組みだけを低年齢の子ども達に教えれば、子どもの一生涯無しにする恐れがある。また、多くの心理学者が有害であると警告しているが見解は。

小学校の図書館にある絵本「性についてはなそう」は、性交の仕組み・自慰・家庭のあり方など常識的でない内容であるが見解は。最近の女の子は非常に乱暴になっているし、責任を引き受けない男の子

## 年間計画の基に 計画的系統的に実施 教育部長

教育部長

**答** 性教育、男女共同参画に関する教育は、学習指導要領に基づき実施している。いわゆるジェンダーフリー教育は行って

いない。子供達の現状は、全国的な統計であるが、中学生でも性交の体験、性感染症、妊娠等の現実があ

が増えている。ジェンダーフリー教育の影響は否定出来ない。また、子ども達が忍耐したり、自己を克服していくという機会が奪われている。結果は社会生活に適応しにくい人間が育つことになると思うが見解は。

。こういった現状を踏まえ、子供達に小学校から正しい性教育を実施することは、重要である。「性についてはなそう」の絵本は、今後未来に生きる子ども達にとっては、保健室で取り扱う学習資料としてふさわしい本であると認識している。

女の子も男の子も無責任であったり、乱暴であったりすることはよくないことである。男女に拘わらず、責任を持つこと、礼節を保つことは大事なことであり、自己の克服、忍耐力は学校教育全般の中で実践している。

## その他の質問

○市三宅地先(剣先)の県有地の活用について



教育現場でのジェンダーフリー

# アスベスト対策は

## 万全か

藤下茂昭

**問** ①石綿が使用されている市内の建造物に問題はないか。

③石綿を取り扱っていた市内の企業の実態と現状

②石綿による被害者（患者）への対策

④国や県との連絡調整

# 対策本部を設置

## 的確に対応する

### 環境経済部長

**答** ①8月に危機管理対策本部を設置。公共施設を点検した結果、石綿使用の疑いのある中主給食センター、中主B&G海洋センターは試験や封じ込め工事を終了した。アスベストの分析結果が判明次第他の建造物も含め対策を講ずる。

③関連の企業へは、県の立入調査に本市職員も同行し、調査を行った。同社は現在、石綿は取り扱っていない。県への報告では、過去の測定結果に問題点はなかったと説明を受けた。

④今後、県と連絡調整を図り情報収集に努める。

②石綿による被災者の実態は不明。本市では健康推進課が健康相談の窓口となり、草津保健所と連携をしながら対応している。現時点での相談はない。



B & G 海洋センター



## その他の質問

○学校給食センターの旧予定地の地権者への対応について

# 少子高齢化対策は

河野司

**問** わが国においては、平均寿命の伸び、少子化等を主要因として、世界で例をみない速度で、急激に高齢化が進行しており、現在20%、出生率の

低下（現在1・29人）も進み、社会の営みの維持に向け抜本的な少子・高齢化対策を本市としても、独自に取り組まなければならない。

# 市サポートプランにより

## 取り組み

### 市民健康福祉部長

**答** 少子化対策では、子育てサポートプランに基づき鋭意取り組み、本市独自の乳幼児福祉医療の無料化、絵本の配布、新生児訪問、9月より一時保育、休日、夜間保育

を私立の認可保育所で開始、ファミリーサポートセンター事業も開始に向け準備中である。高齢化対策では、げんきカード交付事業、ふれあいサロン、生きがいづ

# 駅前周辺整備は

**問** JR琵琶湖線野洲駅は野洲発、野洲止め快速電車等の利便さにより、市内はもとより近隣市町の住民の、主要交通機関として利用乗降客数は増加の一途である。一刻も早く市の玄関口にふさわ

しい駅前にするべく、アサヒの団地を買収し、にぎわいのある整備を行い、同時に周辺の河川（増水）歩道（バリアフリー）交通（渋滞）等の環境整備を急がりたい。

しい駅前にするべく、アサヒの団地を買収し、にぎわいのある整備を行い、同時に周辺の河川（増水）歩道（バリアフリー）交通（渋滞）等の環境整備を急がりたい。



運動会風景



# アサヒビール株との連携協議のうえ進める

## 都市建設部長

くりサークルへの支援、高齢者筋力向上トレーニング事業等を実施している。

**答** 土地所有者のアサヒビール株と連携、協議の上今後の計画を進める。Dブロックは地元や商工会等の意向に沿い、Cブロック（市有地）と共に協議する。



西河原地先

# 小比江・学校・ 比留田線の拡幅は

森申行



**問** 比留田、小学校間は車道4m、歩道1.7mで車の交差も難しく利用し難い。

**答** 通学路としても利用が多いが未整備である。

平成16年6月議会の質問解答では、早急に関係自治会との調整を図り取り組みたいとされていたが、その後どうなっているのか。

## 今後の利用状況を見る

都市建設部長

**答** 小比江、学校間は車道5.5m、歩道1.5mで整備済みである。比留田学校間は車の行き違いは不便であるが、県

道との交差点改良が必要となるため、今後の交通状況を見て検討していく。

## ニート・ひきこもり対策は

**問** ニートとはイギリス

で生まれた「働かざる若者」を意味する造語とされているが、文科省の発表によると、64万人。大卒者の9人に1人がニート。6人に1人が予備軍

だと報じている。政府は今年度810億円をニート対策費に計上した。質問、

- ①本市のニートの状況は。
- ②教育の立場からの見解。
- ③教育現場における対策。

## 働くことへの指導をする

教育長

**答** ①県の調査から人口推測して100人以上と思つ。

②ニート・ひきこもりの現状は社会の根幹を揺るがす深刻な問題である。

③キャリア教育の充実が重要と考え中学校週5日間にわたる職場体験を10月に実施する。今後これらを拡大して、働くことの意味と尊さを指導する。

# 教育改革と

## 進路指導

荒川泰宏



**問** 未成年者による凶悪事犯の頻発が、社会に大きな衝撃を与えている。危機的状況にあるとい

われる我が国の教育は、改革に迫られている。礼節を大切にし、校則を守る教育姿勢を展開す

べきと考えるが、見解は。完全学校週5日制の導入から、様々な問題が生じている。教育プログラムの策定が必要と考えますが見解は。

県立高校全日制普通科の通学区域が4月入学生

## 豊かな人間性教育の 推進に取組んでいる

教育部次長

**答** 平成17年度滋賀県学校教育の指針に基づき、社会奉仕の精神や正義感、倫理観を備えた豊かな人間性の心を育てる教育の推進等に取組んでいる。

校則や礼節については、指導していく。

教育改革プログラムの策定は検討する。

公立高校入試制度の変更に伴う対応や対策については、高校の特色や教育内容を少しでも早い時期から生徒や

から全県1区制になるが、進路指導と地元高校への支援は。



授業風景

# 公的施設の駐車場対策・安全対策、学校の安全

川口東洋



**問** 逐次整備は進められているが、なかなか進まない。

新規の施設建設が、既設施設を圧迫している場合もあり、安全対策に不安が残り、社会的弱者の

施設としての改善が求められる。

児童・生徒の安全快適な学校生活に地域差があったりはならない。

教員、保護者まかせではいけない。教員に「さ

すまた」は似合わない、持たせてはならない。

先の選挙結果で、「学校安全基本法」の成立は遠のいたが、行政として等しく安全を提供できる施策を講ずべきである。

## 問題点は今後も整備、

## 国の安全対策要領に基づき実施

教育部長

**答** 駐車場未整備施設については、今後も現状把握し可能な限り整備する。「さおうの里」非常時

「電波経田線」からの進入路以外に、童子川管理道、農道を使用し安全を確保したい。学校施設の安全について

ては、耐震補強、門扉等の整備を行い、各学校でマニュアルを作成し、これに基づき実施。学校施設の平準化を図る。施設整備に努める。



学校の「さすまた」

# 効率的な入札制度と

# 上屋団地の問題点

鈴木市朗



**問** 平成17年7月14日執行の新上屋団地（第4期）入札は、今までにない変則的なものである。

①前回第3期の入札では、設計に地質調査も含む183万7千500円、今回は地質調査の分離発注にもかかわらず、調査費

だけで190万円。税金の無駄使いである。その理由は。

②分離発注以前の建物は欠陥住宅なのか。

③その他、建設に当たったの留意点は。

## 適正入札と判断

## 住みやすい住環境に配慮

助役

**答** ①建築設計業務と地質調査業務の登録を受けている業者に分離発注した。

②従来合札された入札は有効だと判断している。

## 地域の特産活かした人・ものづくり

**問** 古くから大篠原泥山

では、日本有数の陶土産出で有名である。篠原小学校では100周年記念事業の一環として窯を築

造し、老若男女を問わず、地元陶芸家の指導を受け生涯教育の最たる事業を展開している。教育委員の見解は。

## 生涯学習の

## 中で推進

教育長



市営住宅予定地

**答** 観光案内所での展示販売PRや今後、篠原焼きのすばらしさの普及活動が必要。

地元陶芸家の指導を受け生涯学習施策の一環として位置付ける。

# 議会の動き

## ▲8月▼

1日 第4回臨時会

2日 議会運営委員会行政視察研修会(3日)

17日 議会運営委員会全議員協議会

29日 第5回定例会

湖南広域行政事務組合例月出納検査・決算審査

## ▲9月▼

2日 本会議(議案質疑・委員会付託・一部討論・採決)

5日 文教厚生常任委員会(6日)

7日 総務常任委員会

8日 産業土木常任委員会

13日 本会議(一般質問)

14日 本会議(一般質問)

15日 本会議(一般質問)

16日 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

21日 広報編集特別委員会

27日 湖南広域行政組合例月出納検査

30日 広報編集特別委員会

## ▲10月▼

11日 広報編集特別委員会

## 総務常任委員会研修報告

7月19日～20日

### まちづくり基本条例

(石川県羽咋市)

市民が主役のまちづくりを目指し、条例の策定過程において、市民意向調査やまちづくり市民会議(公募委員)による検討、パブリックコメントの実施など多様な市民参加の手法が取り入れられていた。

### 公共施設の有効利用

(石川県金沢市民芸術村)

大垣市と瑞浪市を研修のため訪れた。大垣市赤坂幼保園は、保育園と幼稚園の施設の共用化、幼保園児としての幼時期教育を保障した幼保一元化保育に取り組んでいた。

## 文教厚生常任委員会研修報告

7月21日～22日

送車も生徒たちのイラスト入りで楽しい給食のイメージを感じた。



## 議会運営委員会研修報告

8月2日～3日

静岡県伊豆の国市と同

県沼津市で、一般質問(質問方式、発言時間、通告制等)、予算・決算の審査方法などについて研修を行なった。

伊豆の国市は、本年4月1日、旧伊豆長岡町、旧葦山町、旧大仁町が新設合併し、新市が誕生した。旧3町で、議会運営の細部について違いがあり、調整に苦労された。会派制については、今後導入の必要性を言われていた。

## 産業土木常任委員会研修報告

7月26日～27日

福岡県大野城市では、西鉄天神大牟田線高架化計画(連続立体交差事業)の実現による沿線まちづくり計画の説明を受け、市による土地の先行買収が功を奏し、民意が反映された駅前開発を実施中であった。

甘木市では、甘木朝倉広域地域(1市3町1村)において、『まちの駅』を「人と人の出会いと交流をサポートする情報受

## 【用語解説】

※プライマリーバランス

財政の健全性を測る指標で、国債発行などの借り入れを除く「歳入」から、過去に発行した国債など借金の元利払い費を除いた「歳出」を差し引いた財政収支。

## 編集後記

新市が誕生し一年が経過し、この間、4回の市議会だよりを発行しました。条例、予算、決算、各委員会審議結果、一般質問等、議員活動を通じ市民の声を市政に反映し、市の進むべき道筋と課題を審議し、その結果を出来るだけ読みやすく、市民に親しまれる身近な紙面づくりに努めてきました。

地方分権型社会、少子高齢化時代に向けてのまちづくりに行政、市民のパートナーシップをどう構築するのか。新議員の手腕と英知に期待します。この一年、議会広報活動へのご支援に感謝申し上げます。

広報委員会一同